

菊池市ミニバレーボール大会 参加チーム募集

楽しみながら、さわやかな汗を流してみませんか？
市民の皆さんの健康増進と親睦を図ることを目的とし、ミニバレーボール大会を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

とき 7月23日(日)
午前9時20分開会
ところ 菊池体育センター
(旧勤労者体育館)

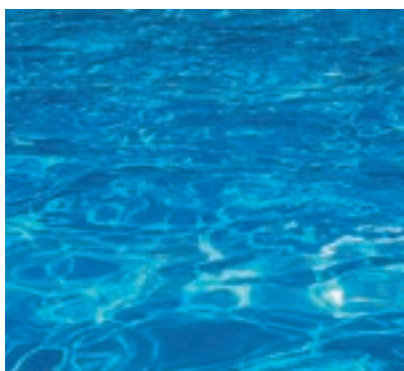
種目 ミニバレーボール競技
チーム編成
○男子の部 49歳以下・50歳以上
○女子の部 39歳以下・40歳～49歳・50歳以上
○男女の部 60歳以上(女性にハンディを与えます)
※男子の部に女子の参加は可とします。
参加資格 菊池市内に居住または、勤務する人。ただし、学生は除きます。

参加費
1チーム1,500円。ただし、参加するには協会への登録が必要です。(登録料、1,000円)

申し込み
7月9日(日)午後7時から午後9時まで、菊池市中央公民館で受け付けます。申込日に都合のつかないチームは、7月12日(水)午後5時まで随時、旭志支部、泗水支部の事務局で受け付けます。

申し込み用紙は、菊池市総合体育館、菊池体育センター、教育委員会旭志分室・泗水分室、旭志体育館、泗水B&G体育館などにあります。

問い合わせ先
菊池市ミニバレーボール協会
・菊池支部(城) ☎(24)0630
・旭志支部(安武) ☎(37)2267
・泗水支部(服部) ☎(38)3885



水中ウォーキング教室 生徒募集

とき 8月11日(金)から9月8日(金)までの毎週火・金曜日(15日は休み)の全8回
午後8時～午後9時

ところ 泗水B&G 海洋センタープール

対象者 全市民

参加費 2,000円

募集人員 20人(先着順)

期 限 7月28日(金)

内 容
・ストレッチ
・水中ウォーキング
・クールダウン

講 師
文部科学省認定コーチ 坂田はるみ

問い合わせ・申し込み先
教育委員会泗水分室教育課
☎(38)20508

自衛官募集案内

応募要領			
募集種目	受付期間	試験日	受験資格
航空学生 海・空(男・女)	8月1日(火) ～9月8日(金)	1次:9月23日(土) 2次:10月14日(土) ～19日(木) 3次:11月12日(日) ～12月8日(金)	高卒(見込含) 21歳未満の者
一般曹候補学生 陸・海・空(男・女)	8月1日(火) ～9月8日(金)	1次:9月16日(土) 2次:10月7日(土) ～13日(金)	18歳以上 24歳未満の者
曹候補士 陸・海・空(男・女)	8月1日(火) ～9月8日(金)	1次:9月16日(土) 2次:10月7日(土) ～13日(金)	18歳以上 27歳未満の者
2士 陸・海・空 平成19年 3・4月採用	8月1日(火) ～9月8日(金)	男子 9月24日(日) 筆記試験予定	18歳以上 27歳未満の者
		女子 9月24日(日) 筆記試験予定	
男子	年間を通じて 行っています	受付時にお知らせ します	

問い合わせ・申し込み先
自衛隊熊本地方連絡部 菊池分駐所 ☎(24)2772

菊池広域連合 消防職員を募集します

平成18年度菊池広域連合消防本部消防職員の採用試験を次の要領で行います。

職種および採用予定人員

- ・職種 消防
- ・採用予定数 6人程度
- ・職務内容 消防業務

受験資格 昭和57年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた人

試験の内容
第1次試験(筆記試験) 高校卒業程度
試験日 9月17日(日)

受付期間
7月24日(月)から8月11日(金)まで(※土・日を除く) 予定

問い合わせ先
菊池広域連合消防本部総務課
☎096(232)9331

差別のない明るいまちづくり 人権啓発講演会

とき 7月19日(水) 午後7時30分～
ところ 旭志多目的研修センター
講師 山口県人権啓発センター事務局長 川口 泰司さん

プロフィール
1978年、愛媛県宇和島市生まれ。中学時代、同和教育に本気で取り組む教師との出会いから、解放運動に取り組むようになる。学生時代は大阪学生部落解放連絡協議会事務局長。自称「歩く『水平社宣言』」。明るくエネルギーに語る講演は、今、注目を浴びている。



演題 「差別っていったいなんやねん？」
～若者からのメッセージ～

開会行事 午後7時30分～午後7時45分

講演 午後7時45分～午後9時

主催 菊池市、菊池市教育委員会、菊池市人権・同和教育推進協議会

問い合わせ先
人権啓発課、旭志総合支所総務振興課

人権同和教育シリーズ⑭ おかあさんの仕事、酪農の仕事
花房小学校3年 植原かおり

私のおかあさんは、酪農の仕事をしていて、酪農の仕事をするときは、トレーナーにジーンズに長靴をしています。手には厚いビニール手袋をしています。おかあさんは、朝早くから夕方遅くまで働いています。私の家と牛小屋は車で2～3分ほどはなれています。牛小屋の広さは、花房小学校と同じくらいです。酪農の仕事をするときにはその牛小屋へ行きます。朝と夜は、牛の乳をしぼったり、牛にえさをやったり、子牛に粉ミルクを飲ませたりしています。牛のお乳をしぼるときには、とても気を使います。汚れないようにおかあさんは、ビニールのエプロンのような洋服を着ます。まるで、宇宙飛行士の着るような服です。お乳をしぼるときは、機械でしぼるけど、30頭ぐらいの大きい牛を機械のところまで連れていかなくてはなりません。

中には、お乳をしぼられることをいやがる牛もいます。そのときに牛は人をけるところがあります。おばあちゃんもけられて頭から血が出たときがあります。その乳しぼりは、朝と夕方にし

ます。だから、乳しぼりが終わるとほっとするそうです。牛も私たちと同じようにごはんを食べます。体が大きいのでたくさん食べます。牛にえさをやるためにおかあさんは、色々な牧草やトウモロコシなどの飼料を混ぜてえさを作ります。それは、教室の大きな机に乗せて牛にえさをやりまます。その機械もおかあさんが運転します。生まれた子牛には、粉ミルクを飲ませます。子牛は一度に3リットルもミルクを飲みます。子牛も7頭いるので、7頭全部にミルクを飲ませなくてはなりません。私も、ミルクを飲ませるお手伝いできます。

これらのことがおかあさんの毎日の仕事です。けれども、おかあさんの仕事は、それだけではありません。おかあさんは、私たちにごはんを食べさせたり、洋服を洗濯したり、弟を幼稚園に送りに行ったりします。

それも朝早く、私たちが眠っている5時には、牛小屋に行つて、酪農の仕事をする。私たちが起きるときには家に帰つて朝ごはんの準備をしていてくれます。そのときのおかあさんはまるで新幹線に乗っているようにときばきしています。

それに、毎日の仕事の他に、人工授精、分娩、小牛の世話もしています。人工授精というのは、子牛を生むための種付けの

ことです。また、分娩というのは、牛の赤ちゃんが生まれることです。おかあさんは、元気な牛が生まれて育つことがうれしそうです。けれども、牛が病気をしたり、死んだりするとても悲しいそうです。

おかあさんの願いは、みんなが、牛乳をたくさん飲んで、牛の値段が高くなることです。糞尿処理もしています。糞尿処理というのは、牛のうんちやおしっこを片付けます。おしっ

お乳が出ないのでせりに出します。いい牛乳がたくさんとれるとおかあさんはうれしいそうです。牛の赤ちゃんが生まれてくると、とても苦労するそうです。酪農の仕事は、休みがないからきついそうです。おかあさんは、休みがない酪農の仕事をおこなっているのがすごいと思います。

家では、酪農の書類に赤ちゃんが生まれた報告を書いたり、難しい計算をしています。時々、私が遊びに夢中になっていると、「こらっ、宿題をしない」と大きな声でおこられます。私は、おかあさんが酪農の仕事をするのを見て、おもしろいと思いつつ、「宿題をしないといけない。家のお手伝いをもつとしないといけない」と思っています。

私は、大きくなっておかあさんみたいに酪農の仕事をして